

ふるさと納税の
効果は

【質問】 当市の住み良さ全国ランキングは。

【答弁】 全国ランキング 619 位で、県内 13 市中 8 番である。この調査の内容は、安心度、利便度、快適度、富裕度、住居充実度等、生活環境が目安となっている。

【質問】 「で・くらす遠野」と、「ふるさと納税」との関係は。

【答弁】 「で・くらす遠野」は、遠野に興味を持つ全国の遠野ファンの方々や「心のつながり」を持ち続ける制度である。単なる物産会員ではなく、「心のこもった情報と品物」を通し会員との交流を深めることが目的となっている。また当市を故郷に持つ方や、遠野のまちづくりに興味を持つ方々が、当市の為に寄附を寄せていただくのが「ふるさと納税」である。遠野市の為に、この二つの制度の相乗的な効果を期待するものである。

市道路線の
認定について

【質問】 駒木地区のほ場整備の完了により認定する市道 2 路線の延長を確認をしたい。

【答弁】 今回の 2 路線は中村前田線の延長 205 m 幅員は 4 m で、福泉寺前線は 443 m 幅員は 4 m である。

【質問】 駒木地区ほ場整備は 13 年度で完了しているがこのように路線認定が遅れた理由はなにか。

【答弁】 ほ場整備は農地が優先で、最終地区面積は市へ道路が移管になるように農林センターで工事や登記の事務を進めている。今回移管になる文書は 4 月 9 日付けで頂いた。

今年度他に他のほ場も順調に進めば移管になる見込みである。

市政調査会研修報告



▲日本所で説明を受ける

遠野市政調査会では、5 月 16 日（金）に平成 20 年度 5 月例会を開催し、議員 19 名が遠野地方農業協同組合からの財産寄附施設の現地調査を実施しました。

寄附施設 17 施設のうち、牧場を除く、遠野駅前の本所を皮切りに遠野・綾織・小友・附馬牛・青笹・達曾部の各店、広域牛舎、堆肥センター、種雄牛センター等市内の寄附施設の実態を見てまわりました。

その中で、維持管理の掛かる施設、改修が必要な施設、地元や団体等で活用可能な施設等がありました。

これから市として、地域住民や各種機関・団体との協議を進めながら、利活用方法について検討をし、施設を活かした市や地域の農業振興等地域活性化の拠点施設として、最善の有効利活用策を見出して欲しい。

（菊池 邦夫会長）



▲堆肥センター

議員談話室

4 年前の事になるが、5 月の連休に同級生が突然訪ねてきた。愛知県大府市で市議会議員をしているとの事で、大府市長の強い意向もあり遠野市さんと災害に備えての協定を結べないかというものであった。私も、その重要性に共鳴し一般質問で取り上げたり、議会間の視察交流等も実施した。本年 2 月 1 日に本田市長が訪問し調印が行なわれた。

6 月 14 日（土）岩手・宮城内陸地震と命名される大災害が発生した。行政は、いざという時のために備えなければならない。岩手県全域を見渡した場合、三陸沿岸の後方支援基地として遠野の防災拠点計画の重要性が増している。一致協力して実現したい。

（石橋 達八議員）

常任委員会等の活動

- 議員全員協議会（5 月 23 日開催）
 - ・遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 総務常任委員会（5 月 23 日開催）
 - ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律について
 - ・遠野市公共工事の入札に係る総合評価制度の導入の取組状況について